

令和3年3月期第2四半期 決算概要

～お客様とともに持続的な発展を目指して～



株式会社 東和銀行

令和3年3月期 第2四半期 決算概要

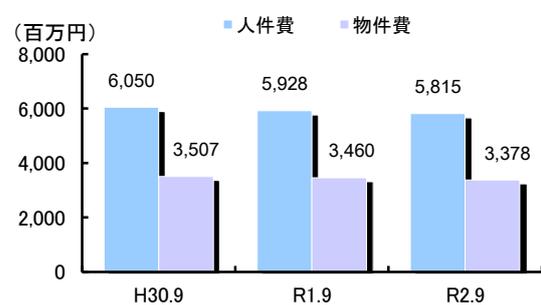
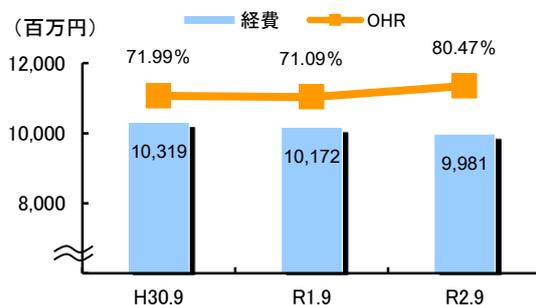
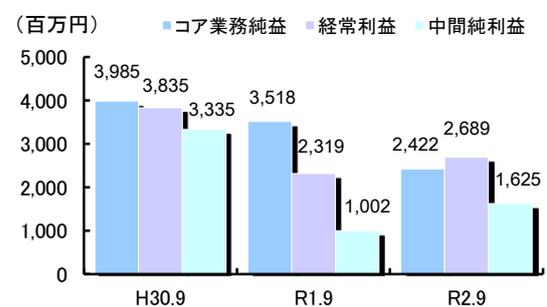
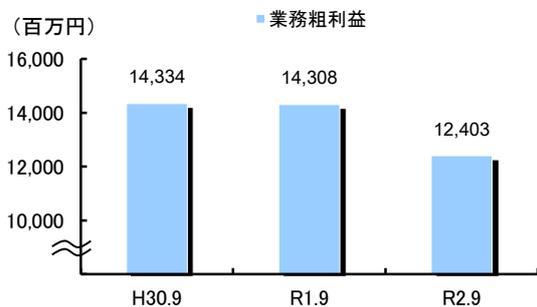
1. 損益の状況

令和3年3月期第2四半期における損益状況は、本業の収益力を示すコア業務純益が24億22百万円、経常利益は26億89百万円、中間純利益は16億25百万円となりました。

《単体》

(単位:百万円、%)

	H31年3月期 第2四半期	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期	
			第2四半期	前年同期比
業務粗利益	14,334	14,308	12,403	▲ 1,905
資金利益	13,344	12,311	11,437	▲ 873
役務取引等利益	910	889	922	+ 33
その他業務利益	79	1,107	42	▲ 1,064
経費(除く臨時処理分)(▲)	10,319	10,172	9,981	▲ 191
OHR(業務粗利益経費率)	71.99	71.09	80.47	+ 9.38
うち人件費(▲)	6,050	5,928	5,815	▲ 113
うち物件費(▲)	3,507	3,460	3,378	▲ 82
コア業務純益	3,985	3,518	2,422	▲ 1,095
一般貸倒引当金繰入額(▲)	84	454	831	377
業務純益	3,929	3,681	1,590	▲ 2,091
臨時損益	▲ 93	▲ 1,361	1,099	+ 2,461
うち不良債権処理額(▲)	905	2,194	596	▲ 1,597
うち償却債権取立益	152	450	94	▲ 355
うち株式等関係損益	242	▲ 355	1,250	+ 1,605
経常利益	3,835	2,319	2,689	+ 369
特別損益	▲ 5	▲ 611	▲ 120	+ 491
法人税等合計(▲)	495	705	943	+ 238
中間純利益	3,335	1,002	1,625	+ 622



2. 主要勘定の状況

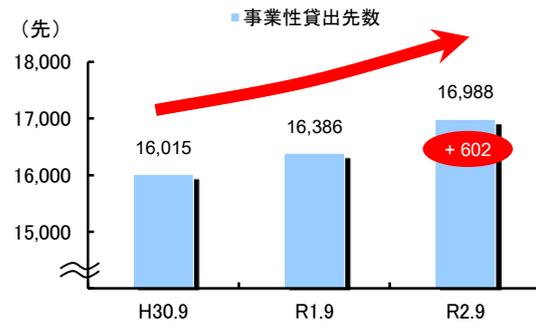
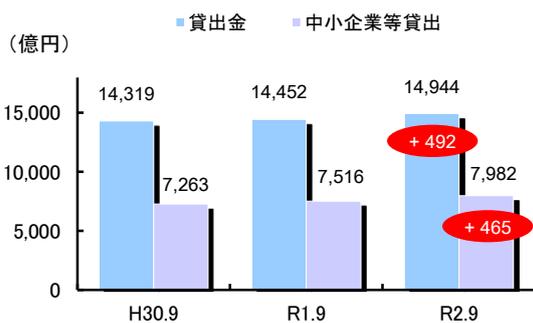
(1) 貸出金

貸出金は、「TOWAお客様応援活動」とともに新型コロナウイルス感染症拡大に伴う中小企業等への資金繰り支援に注力した結果、期末残高は前年同期比492億円増加の1兆4,944億円となりました。
 上記と同様に、中小企業貸出が順調に推移したことから、期末残高は前年同期比465億円増加の7,982億円となりました。
 また、事業性貸出先数は、前年同期比602先増加の16,988先となりました。

《単体》

(単位: 億円、先)

	H31年3月期 第2四半期	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	前年同期比
貸出金(末残)	14,319	14,452	14,944	+ 492
うち中小企業等貸出	7,263	7,516	7,982	+ 465
事業性貸出先数	16,015	16,386	16,988	+ 602



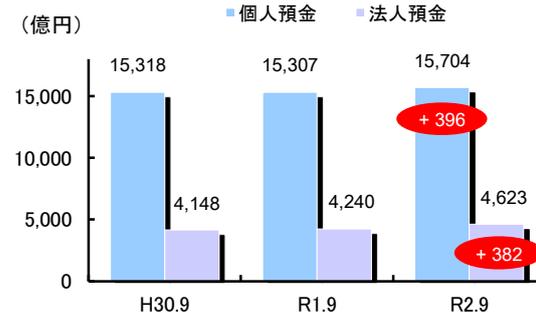
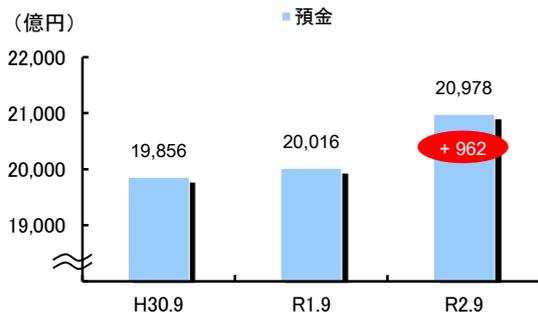
(2) 預金

預金は、個人・法人とも順調に増加し、期末残高は前年同期比962億円増加の2兆0,978億円となりました。

《単体》

(単位: 億円)

	H31年3月期 第2四半期	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	前年同期比
預金(末残)	19,856	20,016	20,978	+ 962
うち個人	15,318	15,307	15,704	+ 396
うち法人	4,148	4,240	4,623	+ 382



(3) 預り資産

投資信託は長期的な資産形成支援に取り組んだことより販売額は109億円、純資産残高は698億円となりました。年金保険等の販売額は62億円、残高は1,124億円となり、また、国債等公共債の販売額は2億円、残高は31億円となりました。

《単体》

(単位: 億円)

		H31年3月期 第2四半期	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	前年同期比
販売額	投資信託	150	119	109	▲ 9
	年金保険等	62	47	62	+ 15
	公共債	1	1	2	+ 1

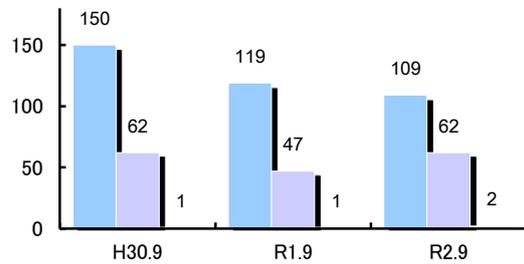
《単体》

(単位: 億円)

		H31年3月期 第2四半期	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	前年同期比
残高	投資信託	745	736	698	▲ 38
	年金保険等	906	1,009	1,124	+ 115
	公共債	44	36	31	▲ 5

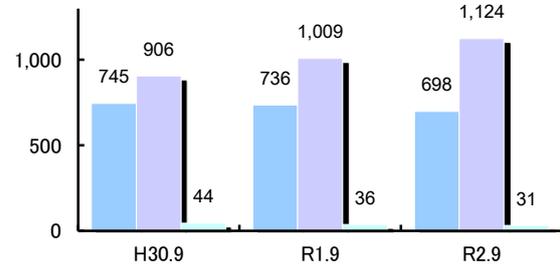
販売額

(億円) ■ 投資信託 ■ 年金保険等 ■ 公共債



残高

(億円) ■ 投資信託 ■ 年金保険等 ■ 公共債



(4) 有価証券

有価証券は、継続的な運用見直しを行った結果、期末残高は前年同期比509億円減少の5,652億円となりました。

《単体》

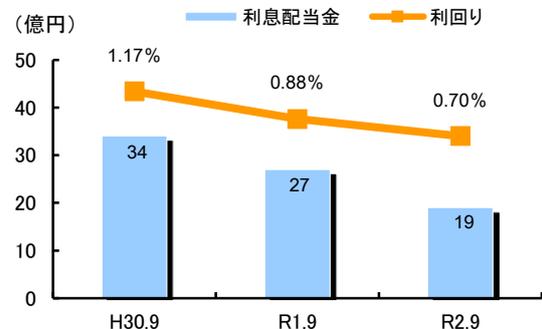
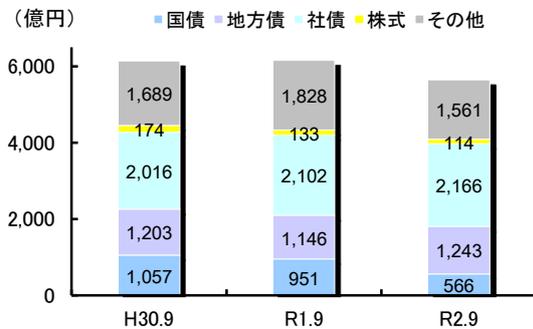
(単位: 億円)

	H31年3月期 第2四半期	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	前年同期比
有価証券残高	6,141	6,162	5,652	▲ 509
国債	1,057	951	566	▲ 385
地方債	1,203	1,146	1,243	+ 97
社債	2,016	2,102	2,166	+ 63
株式	174	133	114	▲ 18
その他	1,689	1,828	1,561	▲ 267

《単体》

(単位: 億円、%)

	H31年3月期 第2四半期	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	前年同期比
有価証券利息配当金	34	27	19	▲ 7
有価証券利回り	1.17	0.88	0.70	▲ 0.18



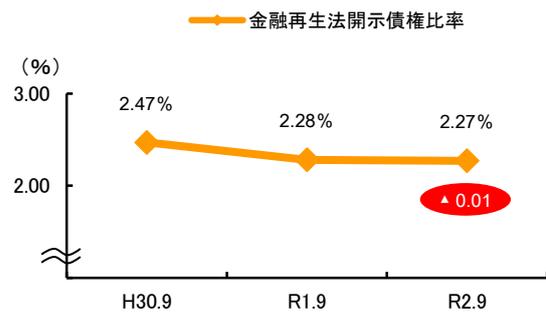
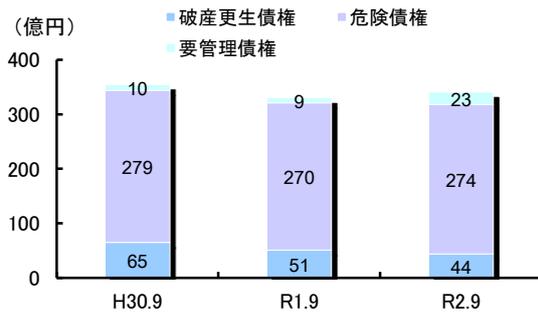
3. 不良債権の状況

金融再生法開示債権比率は、前年同期比0.01ポイント低下し、2.27%となりました。

《単体》

(単位: 億円、%)

	H31年3月期 第2四半期	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	前年同期比
破産更生債権	65	51	44	▲ 7
危険債権	279	270	274	+ 3
要管理債権	10	9	23	+ 13
小計(A)	356	332	341	+ 9
正常債権	14,019	14,181	14,663	+ 481
合計(B)	14,376	14,513	15,004	+ 491
金融再生法開示債権比率(A/B)	2.47	2.28	2.27	▲ 0.01



4. 自己資本比率

自己資本比率は、10.45%（バーゼルⅢ国内基準）となりました。

《単体》

(単位: %)

	H31年3月期 第2四半期	R2年3月期 第2四半期	R3年3月期 第2四半期	前年同期比
自己資本比率	9.75	9.60	10.45	+ 0.85

